

Cure and Care communication

C&C コミュニケーション

第117号

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



医療法人ピーアイエー

ナカムラ病院

介護医療院 **びる**
介護老人保健施設 **まいえ**
グループホーム **つばい**



社会福祉法人双樹会

特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所
居宅介護支援事業所

- ・ 介護老人保健施設まいえ 開設30周年 …… 2p
- ・ 寄稿 健康に過ごすためには …… 5p
- ・ PIAギャラリー
“心に彩りを添える” 現代美術の世界 …… 6p
- ・ 面会制限緩和 対面での面会再開 …… 8p

まいえ開設30周年を迎えて

在宅強化型老健として自立生活を支援する



みなさんに聞いてみました。
まいえに対する思い。
私にとつてまいえとは。

● 抜群のチームワークとアットホームさが自慢の『まいえ』。これからも利用者さまとともに楽しみながら前進し続けます。

施設長 中村 友美

● ご利用者さまの明るく希望溢れる明日の為に、より一層精進してまいります。

副施設長 埴岡 豊

● 「前(まい)えー進め！」名の通り前進する場です。様々な出会いと数あふれる愛に満ちた場でこれからもゆっくりと前に進みたいと思います。

看護部長 木原 久美子

● 勤続十九年。まいえは人間的に大きく成長させてくれた場所。大切な仲間と出会い、利用者さまやご家族の笑顔が元気の源として頑張ります。

看護科長 古田 広子

● まいえで働いていて感じるのは職員の距離が近いこと。連携も取りやすい雰囲気です。職員のアットホームな雰囲気が入居者さまやご利用者さまに伝わればいいなと思います。

支援相談員 石田 優一郎

● ま…毎日の生活そのものがリハビリ
い…今とこれからの生活を見据えた個別リハビリ

リハビリ主任 中田 まゆみ

まいえつてこんなところ
笑顔溢れる暖かい場所です。

よし頑張るぞ!

綺麗に
出来ました



☘認知症カフェだより☘



ナカムラ病院の出張！認知症カフェ「サロンドファミーユ」。六月十六日に観音台公民館にて開催しました。

ホームグラウンドである観音台公民館では三回目の開催となります。今回も参加者さまに楽しんでいただきたいと思います！胸が高鳴るワクワク！のスタートです。

まずは当院の管理栄養士による、かしこい水分補給についての講話がありました。暑さ厳しい夏に向けての脱水予防に、ご家庭にある材料で簡単に作れる経口補水液のレクチャーもありました。理科の実験さながらに、材料を入れたペットボトルをシェイク。あっという間に完成です。

「うん、美味しいわね」
「市販のドリンクは苦手だから、教えてもらえて嬉しいわ」
など好評のうちに講話は終了。

続きまして、サロンドファミーユの特徴の一つである生演奏の時間です。生演奏は脳に良い影響を与えてくれるのだそうです。

広島楽友協会より林直之先生、チエロ奏者の阿曾沿裕司先生にお越しいただき、「シエルブルーの雨傘」など梅雨時に合わせた選曲に会場全員がしっとりと聴き惚れました。

そして、ナカムラ病院の伝統の体操「北国の春」でレクリエーションのスタートです。軽く息が上がるくらいの運動に加え、おなじみの？いいえ、まだ謎のボーイズ集団の登場に参加者の皆さまもドキドキ！

今回のレクは嚥下機能の特訓を兼ねた早口言葉でした。懐かしいドリフターズの音楽に合わせて右に左に揺れながら、会場は大盛り上がり。

上手に言えたら「おーっー」
ちよっぴり噛んだら「わはははは」
皆さんノリノリで、さすがは我らのホームグラウンドです。ボーイズが参加者さまをさらに盛り上げ、会場中がトキメキ！
みなさん、楽しい感情が動かされたひとときだったのではないで

しょうか。

終了後、皆さまからいただいたアンケートには「楽しかった」のオンパレード。有難いお言葉をたくさん頂戴し、スタッフの励みとなりました！心より感謝申し上げます。

さて、出張型の認知症カフェがスタートしてから、何度か出てくる謎のボーイズ集団…。気になる方は、当院の認知症カフェ・サロンドファミーユへ是非お越しくださいませ。スタッフ一同、心を込めてお出迎えいたします。

私たちと一緒にワクワク・ドキドキ・トキメキましょっ！

今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

認知症カフェ・スタッフ

ボブメガネ





歯科の扉

パタカラ体操

パタカラ体操がなぜ大切か知っていますか？
 高齢者の健康体操などでよく取り入れられていますよね。これは発音機能を高める体操ですが、発音機能は2016年に日本老年歯科医学会が提唱した口腔機能低下症の診断項目となっています。1秒間のパ・タ・カの発音がそれぞれ6回未満であれば唇や舌の運動機能が低下していると診断されます。食事をするときには歯だけではなく唇や舌も使います。この機能が衰えるとのどや胃に食べ物が運ばず、低栄養や誤嚥性肺炎にもつながってしまうのです。たくさん会話をする、歌を歌う、早口言葉を言うことは実は健口（健康）につながっているのです。

歯科部長 山脇 加奈子



職員更衣室の扉をリニューアルしました！



事務部 六田 雄大

医療法人ピーアイエーでは、令和五年三月末に職員更衣室の扉を一新いたしました。
 職員が、着替えて出勤する時に思わず笑顔になれるように、扉の色は「黄・紫・青・緑・桃色」と明るくカラフルな色を選び、フオントの形も可愛くて特徴的なモノに拘りました。扉の完成時には、職員の歓声が聞こえてきました。
 職員が今日も「笑顔の扉」を開けて、患者さま・利用者さまへと笑顔が届きますように。

G7広島サミットが開催されるにあたり、何か思い出に残ることをしたいと考え、五月十九日、まさにG7サミットが開催されている裏でG4陽光サミットを開催いたしました。当日は陽光の家を代表する男性入所者さまG4（爺4）にスーツを着用してもらいました。スーツを着ると、気合いが入りとてもいい表情をされておられました。
 記念撮影を終え、開会宣言を四名の中から一名代表者が行い、開催となりました。まずは、広島銘菓の和菓子が振舞われ、「広島」をまずは舌で堪能されました。その後、陽光の家の最重要課題を四名で話し合われました。議題は「陽光の家の夏祭りで何を食べたいか」です。
 いざ、議題が話し合われ



G4 陽光サミット開催



陽光の家 相談員兼介護職 森本 浩夫

と緊張感があり、なかなか話が進んでいきませんでした。一方、一方が「ピアガーデン!!」と言われ、一気に緊張感が和らぎとんとん意見が出るようになりました。そして、一つの答えが導き出されました。
 そして、七月に行われる夏祭りでは「かき氷とアイスクリーム」が振舞われることが決まりました。「やっぱり夏には冷たいもの」という意見が多く、決定となりました。
 話し合いが終わると、次に広島街並みの移り変わりの映像を見ていただき、広島「良さ」を皆さまと一緒に再確認しました。
 最後に閉会の挨拶が行われ、G4陽光サミットは無事閉会しました。最後までサミットを盛り上げていただいたG4の四名には感謝で胸がいっぱいになりました。今後も入所者さまに楽しんでいただける行事を企画していきたいと思えました。

健康に過ごすためには

児玉 ミチ子

当院に外来通院されている児玉ミチ子様にお話をうかがいました。

私は現在九十二才。畑仕事に精を出し、毎日元気に生活できることを幸せに思っています。私が健康に過ごすために気をつけていることを紹介します。

①食事…一口に必ず牛乳魚、卵、肉、新鮮な野菜をとる。バランスのとれた食事で、しっかりした体を作る。

②ウォーキング…市のウォーキングクラブに入り、毎日ウォーキングをする。一日に五千歩程歩くようにしている。

③体操をする…暇を見つけては、体操をする。大村崑さんの本やきくち体操の本を参考に体を鍛えている。

④野菜作りに精を出す…天気のいい日には畑に出て、野菜作りをする。野菜を育てることで元気が出る。

⑤作った野菜をJAへ出荷する…JAで多くの人と話ができる。私の作った「赤じそ」でジュースを

作る」と言われて嬉しかった。

⑥集会に行き人と話をする…グラウンドゴルフに参加する。公民館の講座に参加する。人と話をするのは楽しいし、お話のためになる。

⑦お医者さんの注意を守る…血圧が高いのでナカムラ病院に通院している。いろんな検査をし、悪い所を治療してもらい、健康法を教えてもらう。先生と話すごとで元気をもらっている。

以上の七つのごとに気を付けています。自分でできることは自分で頑張り、いろいろな人に感謝しながら生活していく。これが健康に生きてくために大切なことだと思います。

●執筆者経歴紹介●



児玉 ミチ子
(こだま みちこ)

昭和6年6月10日、安芸高田市甲田町生まれ。20歳で中学校の家庭科教諭となる。60歳で定年退職した後は、農業や体操等に精力的に取り組んでいる。家族に支えられながら、周囲に笑顔と元気を与えている。



保険証提示のお願い

保険証の更新時期になりました。新しい被保険者証がお手元に届きましたら、病院受付へ提示をお願いします。

当院では六月よりオンライン資格確認システムの運用を開始しています。正確な情報を取得・活用するために、マイナ保険証によるオンライン確認等の利用にご協力をお願いします。

医事課 山崎 望

認定取得

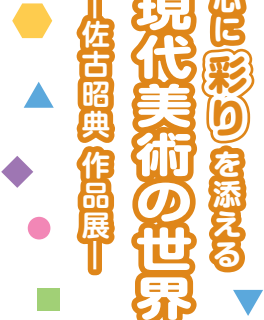
働きながら勉強し、見事に資格を取られました。

認定歯科衛生士 山根 次美
歯科医療安全管理



心に彩りを添える 現代美術の世界

—佐古昭典 作品展—



PIAギャラリーでは、六月五日から八月二日まで「佐古昭典・作品展」を開催しております。佐古先生は当ギャラリーの顧問で、数々の受賞歴を持つ広島で著名な芸術家の方です。実は、前回の展示を担当してくださった、さこもみさんの旦那様でもあります。この度は顧問として、当ギャラリーのことをもっと知っておきたいと、担当して下さるようになりました。



佐古先生の作品は、元気が出るような色彩に富んだ半立体の作品が多く、一瞬で見る人を惹きつけ、心を躍らせます。そんな作品たち計七十四点が、重厚なPIAギャラリーを現代的で華やかな空間へと昇華してくれました。

佐古先生より以下のコメントをいただいております。

「三十年間で制作した作品を展示させていただきました。デザインの明るい作品、シンプルな作品など、作風も長い年月の間に様々に変化し、数多くの作品に挑戦してきました。その時代ごとの色々な思い出を振り返ることができ、本当に良い機会をいただきました。これからPIAギャラリーの顧問として、素晴らしい作家の方々を紹介していきたいと思っておりますので、今後の作品展も楽しみにしていただきます。」



大変ご好評いただいた「佐古昭典・作品展」は、惜しまれながら展示を終えてしまいました。これからも多くの方に元気を出してもらえる作品展を佐古先生に企画していただきますので、よろしくお願いたします。

事務所 六田 雄大



@n.pia_gallery



いきいき行事ダイジェスト

4月

- お花見 (B4・まいえ1)
- お花見気分を味わう (A3)
- お花見コンサート (陽光の家)
- 売店 (陽光の家)
- 郷土料理【群馬】(陽光の家)
- 昔の遊びをしよう【靴とばし】(にぎや家)
- おやつレク【ふれあい・いこい・つどい・ほほえみ】(陽光の家)
- 春の音楽会 (まいえ2)
- 春の仮装音楽会 (B6)



5月

- こいのぼりを楽しむ (A3)
- 子どもの日にちなんで【ミニゲーム】(B3)
- 5月忌み【しょうぶ湯につかる】(まいえ1)
- カエルジャンプゲーム (B5)
- 売店 (陽光の家)
- 新緑の季節【お茶缶倒しゲーム】(にぎや家)
- おやつレク【いこい・つどい・ふれあい・ほほえみ】(陽光の家)
- ホットケーキ作り (つばい)
- 郷土料理【高知】(陽光の家)
- 昔遊び (まいえ2)



6月

- おやつレク【いこい・つどい・ほほえみ・ふれあい】(陽光の家)
- 売店 (陽光の家)
- 郷土料理【滋賀】(陽光の家)
- サンドイッチバイキング (つばい)
- 紙芝居で思い出そう (A3)
- 梅雨をぶっとばせ!!【カエルジャンプ大会】(にぎや家)
- ミニ運動会 (まいえ2)
- 暑気払い【浴衣の着付け教室】(まいえ1)



いきいき 行事だより

ホットケーキ作り in つばい



五月十日ホットケーキ作りをしました。ホットプレートで焼き、みなさんにひっくり返してもらいます。「昔は大きいのを作っていたのよ。」と懐かしそうに思い出話をしながらできあがりしました。一人ひとり好きなフルーツやあんこをのせ、生クリームを飾り、ホットケーキが完成です。紅茶と一緒に「私は全部食べられるよ。」「もう一枚食べれます。」「あ、

美味しかった」と、笑顔でみなさん完食されました。
コロナ禍で外出の機会が無く、施設内での行事ばかりでしたが、これからは外食や花見など楽しい時間が過ごせたら良いと思います。

グループホーム つばい
介護福祉士 若宮 ゆう子

VRでカンタン! 認知機能セルフ チェック導入!

ナカムラ病院では簡便に認知機能の状態を知ることができる「認知機能セルフチェック」(株式会社FOVE)という検査機器を導入しました。

●認知症は、発症してしまうと元に戻す事が出来ません。主にアルツハイマー型認知症などの認知症の進行は非常に遅く十年から二十年をかけて徐々に進行していきます。

その為、認知症に移行する前のMCI(軽度認知障害)の段階で認知機能の低下を確認する事が出来れば、認知症への移行を予防したり、進行を遅らせる為の対策が可能となります。

●認知機能セルフチェックとは

認知機能セルフチェックは、VRと視線追跡技術を使い、独自のアルゴリズムで認知機能を定量的に算出する今までにない次世代型の認知機能測定ヘルスケアサービスです。検査時間は全体で五分以内と短く、利用者さまが一人でも実施ができるような簡易的な検査となっています。

認知症は治療が難しいからと、健康な時から定期的に自分自身の認知機能を把握し、万が一認知機能に低下がみられた場合でも、早期に適切な対策をとることが大切です。

●検査内容

VR画面上で出題される認知課題に對して「視線だけ」で答えていきます。複数の選択肢から正解だと思つものを

「見つめる」ことで回答するので、筆記や口頭で答える必要はありません。

「判断力・記憶力・空間認知力・計算力・言語力」の五カテゴリーに分かれて合計十二〜十五問の認知課題に挑戦していただきます。

広島で導入しているところはまだまだ少なく、どなたでも受けることができませんので、ご来院の機会にぜひお気軽にお試しく下さい!

料金…三三〇〇円

(保険診療の対象ではありません)
お問い合わせ…当院受付

(〇八二一九二二一八三三三)



面会再開しました!

当院では新型コロナウイルス感染症に対する感染対策のため、原則面会禁止としておりましたが、この度五類への移行に伴い面会制限が大幅に緩和されました。段階的な制限緩和は行つていきましたが、地域・人数を問わず面会可能となつたのはコロナ禍前以来となります。中には数年ぶりに再会するご家族もおられ、喜びや安心された様子を見ると、今まで数多くのご不便やご心配をお掛けしましたことを申し訳なく思いました。現状十五分の短時間ではありますが、毎日でもご面会いただけるようになり、少しずつ日常が戻りつつあることを実感しています。振り返れば、新型コロナウイルスを当法人に持ち込まないことを第一に考えて、ご家族に面会制限をお願いしたときに、ご理解や励ましの言葉を多くいただいたことは今もありがたく思います。

ご家族に患者・利用者さまの現在を伝える手段として、タブレット端末を利用したオンライン面会も大きな役割を果たしました。直接触れることはできなくても姿を見ることで、「変わりない様子で良かった」「話が出来て嬉しかった」等、安心していただけましたご家族の様子を見ることが出来ました。今、数年ぶりに見る患者・利用者さまの姿に、ギャップや違和感が無いのはオンライン面会の成果だと思

ます。そして我々にとつても色々なサービスの形を考えるきっかけになったのではないかと思います。

今でも新型コロナウイルスがなくなつた訳ではなく、高齢者や慢性疾患を持つ多くの人が生活している当法人では依然として一定の感染対策は継続して行つていきます。それでも、少しずつ以前の日常に近づいてきている実感があります。面会して喜ばれている患者・利用者・ご家族さまにより良いサービスが提供出来るように、これからもスタッフ一同頑張つていきたいと思

介護医療院ひいろB4

療養棟科長 山根 孝之

編集後記

五月八日から、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ「五類」に移行しました。それに伴い当院でもようやく面会などの制限を緩和することができました。

広島市内でもとうかささんの歩行者天国が四年ぶりに復活しました。

感染予防は、今後も引き続き留意して、人との交流を楽しめるようになっていくことを本当にうれしく思います。

コロナ禍で学んだこと、残していきたい取り組みは今後に活かしつつ、これから始まる新しい日常を楽しんでいきたいものです。(Y)